

授業科目 物理学の世界

【担当教員名】 江原 義弘		対象学年	1	対象学科	義肢
		開講時期	後期	必修選択	選択
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		関心・意欲	
○		○		○	
【概要・一般目標：GI0】 福祉機器を開発・製造・評価・使用する上で必要な力学を学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 物体の速さと運動が説明できる。 2. 力による現象が説明できる。 3. 力と運動の関係が説明できる。 4. 力学的エネルギーについて説明できる。 5. 国家試験の力学の問題が解ける。 6. 学習習慣がつく。 7. 学生同士で助け合う習慣がつく。 8. 基礎知識を応用する思考力がつく。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション、力の合成			2, 6, 7, 8	講義と質疑応答、演習
2	テコ 1			2, 6, 7, 8	講義と質疑応答、演習
3	テコ 2			2, 5, 6, 7, 8	講義と質疑応答、演習
4	滑車			2, 5, 6, 7, 8	講義と質疑応答、演習
5	生体の中のテコ 1			2, 6, 7, 8	講義と質疑応答、演習
6	生体の中のテコ 2			2, 5, 6, 7, 8	講義と質疑応答、演習
7	作用・反作用			2, 6, 7, 8	講義と質疑応答、演習
8	力の分解、斜面、摩擦系			2, 6, 7, 8	講義と質疑応答、演習
9	速度、加速度、座標系			2, 3, 6, 7, 8	講義と質疑応答、演習
10	自由落下と放物線			4, 5, 6, 7, 8	講義と質疑応答、演習
11	仕事とエネルギー 1			2, 3, 4, 6, 7, 8	講義と質疑応答、演習
12	仕事とエネルギー 2			2, 3, 4, 5, 6, 7, 8	講義と質疑応答、演習
13	物体の衝突			3, 5, 6, 7, 8	講義と質疑応答、演習
14	浮力と水の圧力			2, 5, 7, 8	講義と質疑応答、演習
15	まとめ			5	講義と質疑応答、演習
【使用図書】		<書名>		<著者名>	<発行所> <発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		大学生なら知っておきたい物理の基本 [力学編]		為近和彦	中経出版 2009・1,800 円
その他の資料					
【評価方法】 毎回の小テスト 説明できる能力をみる。		【履修上の留意点】 学習習慣をつけ、学生どおして助け合って理解を深める。 苦手な学生は学習支援センターを活用して予習をする。			